

第7次総合計画

実施状況を
報告します

ID 1026379

2018(平成30)年度からスタートした第7次総合計画は、まちづくりの方向性を定めた市の最も基本となる計画です。詳しい状況は、成果指標などの「指標の推移」や「行政評価結果報告書」としてウェブサイトなどで公表しています。



市長 中野 正康

Plan 1 健やかにいきる

健康寿命の長いまちづくりに取り組みます

新型コロナウイルスに感染した市民の健康を守るため、看護師が24時間対応する電話相談窓口を開設し、医療機関と連携した受診調整などに取り組んでいます。

安心して子育てができる環境をつくります

放課後児童クラブの待機児童対策として、貴船・大志・大和児童館で増築工事や改修工事をしました。



適切な医療を受けられる体制を整えます

業務の効率化や安全な医療の提供、患者サービスの向上のため、電子カルテと連携した情報端末を市民病院の入院患者のベッドサイドに設置する準備を進めています。

高齢者が安心していきいきと暮らせるよう支援します

高齢者の外出を支援するため、福祉タクシー料金の助成対象年齢を90歳以上から85歳以上に拡充しました。

障害者福祉の充実を図ります

グループホームの重度障害者の受け入れを促すため、国の報酬に加えて、市が上乗せ補助をしました。

Plan 2 快適にくらす

ごみを適正に処理し資源のリサイクルを推進します

「資源とごみの分け方・出し方辞典」を改訂するとともに、収集日などの通知機能を加えた「ごみ分別新アプリ」を導入しました。

町内会がごみ集積場所にゴミボックスを設置する費用の一部を支援しました。



地球温暖化防止に取り組みます

地域新電力会社を設立しました。また、公共施設の太陽光発電設備の導入に向けた調査を進めています。

水と緑を活かしたまちをつくります

富田山公園のやすらぎと憩いの場として、木曽川を眺望できるウッドデッキを設置します。

歩行者や自転車が安全に通行できる交通環境を整備します

通学路の安全確保のため、カラー塗装などの路面標示のほか、カーブミラーなどを設置しました。

Plan 3 安全・安心を高める

災害に強い社会基盤整備を進めます

日光川2号放水路(県事業)に計画されている中間立坑および流入工を建設するための用地取得を、県と連携し取り組んでいます。

火災や救急に対する体制の強化を進めます

救急対応の効率化による市民サービス向上のため、本部救急隊を新設しました。

交通事故を減らす取組を進めます

自転車用ヘルメットの購入補助対象を全年齢に拡充しました。



Plan 4 活力を生み出す

魅力があり持続的発展性のある農業を支援します

「いちのみや(138)野菜(831)プロジェクト」の取り組みとして、シンポジウム「野菜がもたらす健康力！」を開催しました。



幹線道路の整備を進めます

「名岐道路(一宮～一宮木曾川)等の都市計画の素案に関する説明会」を行い、延べ223人の方に参加いただきました。

Plan 5 未来の人財を育てる

特色ある教育活動を実施します

生徒の居場所づくりと、自立に向けた支援を行う「サポートルーム」を中学校3校に設置しました。

する・みる・ささえるスポーツ活動を支援します

「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を光明寺公園球技場で開催しました。



歴史・文化に親しめる環境を整えます

美濃路起宿高札場跡に高札を復元するとともに、市川房枝生家跡を顕彰施設として整備しました。

国際芸術祭「あいち2022」一宮市会場を盛り上げるため、会場運営に協力するとともに、市独自の事業を実施しました。



Management 1 人を呼び込む ～シティプロモーション～

訪れてみたいまち、交流が盛んなまちをつくります

ミス七夕・ミス織物を廃止し、柔軟な発想や行動力を活かした「学生サポーター」を創設しました。



承久の乱800年関連のイベントなどを実施しました。



Management 2 持続可能で未来につなげる

情報通信技術(ICT)を積極的に利活用します

転入・転出などの窓口でスマート窓口システムを導入し、来庁者の負担軽減・届出のペーパーレス化・業務の効率化を進めています。